

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」の取組事例

洋野町教育委員会「学校支援地域本部事業」の成果と課題(岩手県洋野町)

取組事業

学校支援地域本部事業

活動実施場所

種市小学校 角浜小学校 宿戸小学校
中野小学校 大野小学校 林郷小学校

取組概要

【学校支援地域本部】

- ア 学校支援ボランティアの協力を得て、子どもたちの学力向上につながる読み聞かせ活動を推進する。
- イ 学校支援ボランティアの協力を得て、学校行事の準備や運営面などの補助を行う。
- ウ 学校支援ボランティアの協力を得て、校内環境の整備や登下校時の安全確保のためのパトロールなどを行い、子どもたちの過ごしやすい学校づくり及び地域づくりに努める。



地域の人たちに教えてもらいながら
稲刈り体験



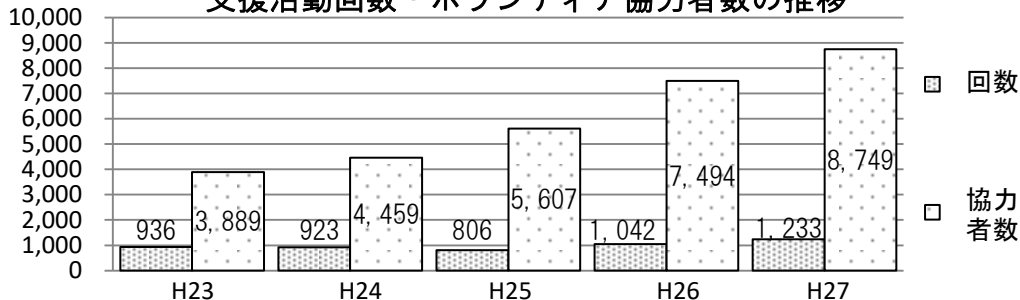
浜下り体験でウニの殻むきに挑戦する子どもたち

事業成果

【学校支援地域本部】

学校支援ボランティアの活動回数、協力者数とも年々増加しており、地域全体で学校教育を支援する体制が構築されてきている。本年度は11月末現在で支援活動回数1,230回、協力者数8,264人と、すでに昨年1年間分と同等の数値となっている。本事業の実施により、子どもと地域住民が学びを通してつながり、互いに明るい挨拶や会話をする様子が日常的に見られるようになったことから子どもたちの社会性やコミュニケーション能力の向上が見られる。

支援活動回数・ボランティア協力者数の推移



課題や今後の取組

(課題)

復興途上にある本町においては、湾港や商業施設等の整備による重機や大型車の往来、他地区からの多数の人の出入りなどがあり、子どもたちの安心、安全な居場所が少ないという現状がある。また、子どもたちの「勉強場所の確保」という目的だけでなく、地域の大人たちとふれ合うことにより、心のケアを進め、将来への希望や安心感を持たせるとの意義も大きく、仮設住宅の解消後も一定期間の安心・安全な居場所を確保する必要がある。(今後の取り組み)

支援活動回数を延べ1,000回、ボランティア協力者数を延べ5,000人を毎年継続的に達成することを目標指標とし、事業の普及と定着に努めていく。